

兵庫県立農業大学校（一般試験・後期）受験者募集！！

1 教育の目標

幅広い知識と高度な農業技術、経営管理能力の修得により、地域社会に役立つ農業の担い手と農業の指導者を養成します。

(※大正9年創立101年目、卒業生は4,700名余り、農業者やJA・農業関連企業に幅広く輩出)

2 教育の方法

- (1) 講義・教科書等での学習と実習や体験による学習とを一体化した「実践学習」中心。
- (2) 農業（畜産含む）に関する専門的な知識・技術を有する職員（普及指導員、獣医師等）が学生に主体性を持たせつつ指導します。

3 令和4年度学生募集状況

- (1) 募集定員：40名（全寮制、5つの専攻①作物 ②野菜 ③花き ④果樹 ⑤畜産（但馬牛のみ））
- (2) 受験者資格
本県の農業振興に熱意を持ち、人物及び健康に優れた 25歳未満（令和4年4月1日時点） で高校を卒業した者又は卒業見込みの者、あるいは同等の学力を有する者。
- (3) 入学試験
 - ①一般試験・後期
実施日：令和4年3月8日（火）[出願期間 令和4年2月14日（月）～2月24日（木）]
試験科目：筆記試験 [国語（古文・漢文を除く）・数学]、面接
 - ②募集人数：概ね15名程度

4 特典及び免許・資格の取得

- (1) 在学中に、次の資格・免許等の取得を積極的に支援します。
例) 大型特殊自動車運転免許（農耕用限定）、家畜人工授精師（畜産課程）、フォークリフト技能、小型車両系建設機械、アーク・ガス溶接技能 等
- (2) 在学生は、日本学生支援機構の奨学金を受給することができます。
- (3) 卒業生は、短大2卒の資格を有する者に準じて取り扱われます。
- (4) 卒業生には「専門士（農業専門課程）」の称号が与えられます。
- (5) 卒業生は、4年制大学3年次への編入が可能です。
※平成29年度以降の進学者数4名（主な編入先：信州大学、佐賀大学、東京農大など）

5 卒業時の進路

- (1) 最近5カ年間（H28～R2年度）卒業生の進路

卒業生数	農業従事者		就職者				進学
	就農	法人雇用等	農協等	関連企業	公務員※	その他	
160 (100%)	7 (4%)	53 (33%)	45 (28%)	30 (19%)	8 (5%)	11 (7%)	6 (4%)

就職率：農業従事者（就農・法人雇用等）37%

農協等、関連企業（農業機械メーカー、種苗販売、青果流通等）47%

※兵庫県職員：平成30年度以降は、毎年1名合格（令和3年度卒業予定者：3名合格）

(2) (1)のうち普通校出身卒業生の進路

卒業生数	農業従事者		就 職 者				進学
	就農	法人雇用等	農協等	関連企業	公務員	その他	
64 (100%)	5 (8%)	21 (33%)	16 (25%)	10 (16%)	2 (3%)	6 (9%)	4 (6%)

就農率：農業従事者（就農・法人雇用等） 41%、農協等関連企業 41%

公務員：町役場・自衛隊

6 教育内容等（令和3年度）

(1) 履修科目：基礎教養科目、農業専門科目及び実習（校内実習及び農家派遣等）

履修単位：1 学年 59 単位/1,515 時間、2 学年 49 単位/1,451 時間

合計 108 単位/2,824 時間 [うち実習：1,534 時間 (54%)]

(2) 講 師：大学教授、学識経験者、農業大学校職員及び農林水産技術総合センター研究員
など農政環境部の専門技術等職員

7 経費比較（令和3年度）

項 目	入学金	授業料（年間）	合 計	参考（1年生の年間必要額）
兵庫県立農業大学校 ※ ¹	5,650 円	118,800 円	124,450 円	584,450 円
国立大学(理系)	282,000 円	535,800 円	817,800 円	1,523,200 円※ ²

※¹ ア その他諸経費

食費等で年間 約 46 万円、2 年生は研修旅行費として +10 万円程度

イ 寮の経費：部屋代、水道光熱費は無料

ウ 兵庫県立農業大学校独自の授業料免除制度あり

※² 日本学生支援機構調べ

8 卒業生からのコメント

(1) 農業高校→農大→公務員 S.M (但馬農業高校/農家) 平成 31 年卒業 就職先：兵庫県 (公務員)

農大を卒業後、兵庫県に農学職で採用され、農業改良普及センターで野菜担当の普及指導員として仕事をしています。仕事は、農業者に直接接して農業技術や農業経営等の助言・指導を行うことですが、農大で学んだ実習での実践力や授業でお世話になった先生や農家の方々とのネットワークは今でも役に立っています。

(2) 普通校→農大→編入（国公立）→公務員

S.H (大阪信愛女学院高校出身/非農家) 平成 27 年卒業 就職先：兵庫県 (公務員)

私は、高校の部活動で農業に関心を持ち、自分で農産物を作りたいという思いから農業大学校に入学しました。非農家の出身で全く農業の知識がない中、農大の実習を通して、栽培計画の立て方から栽培技術を習得することができ、農業に関する資格も多数取得できました。

寮生活では、先輩・後輩との交流を通して、チームワークやコミュニケーション能力等が身につきました。

農業の知識をもっと深めたいと思い、農大を卒業後に愛媛大学農学部編入学し、卒業後は、兵庫県に農学職で採用され、農業改良普及センターで農産物活用担当として仕事をしています。

農大での学習や経験は、現在の仕事にも生かされています。

(3) 普通校→農大→雇用就農

S.K (神戸野田高校出身/非農家) 令和 3 年卒業 就職先：有限会社 井寄牧場 (丹波市)

今春、農大を卒業後、有限会社井寄牧場にて肉用牛の肥育管理を行っています。高校時代に牛飼いになることを目標に決め、畜産を学べる農大を選びました。先生、先輩や実習先の農家から実践的な知識・技能を教えて頂き、寮生活で朝から晩まで牛に関わる 2 年間を通じて自分自身が大きく成長できました。独立自営の夢の実現に向かっていきます。